

茅ヶ崎ボランティアだより

令和7年7月1日
第167号

編集・発行：茅ヶ崎ボランティア連絡会
茅ヶ崎市新栄町13-44 茅ヶ崎市社会福祉協議会内
TEL: 0467-85-9650 FAX: 0467-85-9651
URL: <https://cvla1980.net/>



令和7年度活動スタート!

令和7年度茅ヶ崎ボランティア連絡会総会報告

茅ヶ崎ボランティア連絡会 会長 廣田 みつ子
令和7年4月14日（月）10時から農協ビル4階で年度定期総会が開かれました。（10グループ出席、2グループ委任状提出）昨年度の事業・決算、本年度の事業計画・予算が承認され活動が始まりました。本年度の事業計画は次の通りです。

1. ボランティア大学を市社協と共催で5月9日～6月20日まで開催。これからボランティア活動を始めたい初心者を対象にした講座です。この基本コースを終了後、更に多種の技術を習得するための選択コースもあります。

1. ボランティアまつりの開催。今年度は11月22日（土）茅ヶ崎市民文化会館の展示室・練習室で、福祉バザー・アトラクション・福祉体験を予定しています。

1. 広報活動としてボランティアだよりを年3回発行しホームページに掲載。また、パネル展をイオン茅ヶ崎中央店で開催、サポセンパネル展に参加、市社協の公式LINEにより、グループの活動を多くの方に紹介していきます。

グループ毎に地域や学校を訪問し、体験学習・出前講座で活動紹介と福祉に対する啓蒙活動を行っています。

1. グループ会員の研修会を9月に、講演会を10月に計画中です。

☆これまで認知症の方々に寄り添い活動されてきた「にこにこクラブ」が退会されたことは残念ですが、私達ボランティアを必要とされている方にこれからもできる限り温い支援の手をお届けしたいと考えております。



ボランティア大学スタート

5月9日より今年もボラ大が始まりました。1日目は牧岡英夫先生による講義『ボランティア活動とは』。

「ボランティアはドッジボールではなく、キャッチボール。コミュニケーションを取りながら相手の取りやすい球を投げろ。」という言葉が印象的でした。52名の受講者の皆様、いろいろ体験して自分に合うボランティアを見つけてください。



車いす体験



球の行方を皆で見守る

今年は春にもパネル展

毎年11月に行っているイオンパネル展を今年は5月16日～22日にも開催しました。

お買い物ついでにパネルをご覧いただき、各グループのチラシをお持ちいただきました。また、昨年度ですが初めてサポセン主催「市民活動団体パネル展」（3月10日～3月19日市役所市民ふれあいプラザで開催）にも参加、こちらではボラ連として1枚のパネルを新たに作製しアピールしました。



茅ヶ崎ボランティア連絡会

第45回 ボランティアまつり・福祉バザー

日時：令和7年11月22日（土）10時開場

会場：茅ヶ崎市民文化会館 展示室他

内容：《バザー》《アトラクション》《福祉体験》他

入場無料 お気軽にご来場ください、お待ちしております!

共催：茅ヶ崎市社会福祉協議会・茅ヶ崎ボランティア連絡会



たんぽぽの綿毛のように
もっとボランティア!!



With A Coordinator

こーでいねーたーのページ

こんにちは! 二年生になりました市社協ボランティアセンターの鈴木です。

昨年こちらでご挨拶させて頂いたときは、何から書いたらよいか分からず、気づけば自己紹介だけで終わってしまったという。それから一年、出前講座やボランティアまつりをはじめ、日々ボラ連の皆さまと関わらせていただく中で、活動の奥深さや、地域に根づいた力強さに多く触れることができました。

皆さんの大切にしていることや貴重なお話は、この仕事をしていなければきくと聞くことができなかったものばかりで、刺激や学びの連続です。

地域での講座や活動に参加する機会も増え、バラバラだった茅ヶ崎の地図が少しずつつながっていくような気がしています。

車の運転はまだ練習中で、なるべく自転車ですべてしています。見かけたらどうぞお気軽にお声がけください。

安全第一を心がけながら、一歩ずつ丁寧に、今年も駆け回りたいと思います。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

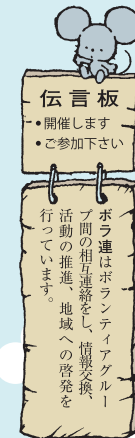
ボラ連と各グループの活動状況

ボラ連 活動状況

- ★1月31日 令和6年度第2回茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会 廣田会長
- ★2月27日 令和6年度第2回生活支援体制整備事業第1層協議会 石井会計
- ★3月11日 令和6年度ボランティアセンター運営委員会 松本書記
- ★3月19日 令和6年度第4回茅ヶ崎市社会福祉協議会理事會 廣田会長
- ★3月25日 令和6年度第4回茅ヶ崎市地域活動計画推進委員会 岡田書記
- ★3月27日 令和6年度茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画推進委員会 廣田会長
- ★3月27日 茅ヶ崎市社会福祉協議会評議員会 石井会計

各グループ

- ☆茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団
12月4日 松林小学校 4年生138名 点字の歴史・読み書き
- 1月9日 浜須賀中学校 1年生60名 点字の歴史・読み書き
- ☆介護ボランティア ポテトの会
11月1日 浜須賀中学校 1年生48名 車いす介助法説明と体験指導
- 2月24日 藤和茅ヶ崎ハイタウン自治会18名 車いす介助法説明と体験指導
- 2月27日 萩園中学校 3年生44名 車いす介助法説明と体験指導
- ☆布えほんグループ コスモス
11月19日 柳島小学校 なかよし級 新規寄贈
12月18日 梅田小学校 なかよし級 新規寄贈
12月19日 鶴が台小学校 なかよし級 依頼作品の寄贈
12月24日 西浜小学校 なかよし級 新規寄贈・点検・修理
2月13日 室田小学校 松の実教室 依頼作品の寄贈
2月17日 つつじ学園 依頼作品の寄贈
- ☆茅ヶ崎録音奉仕会
1月9日 浜須賀中学校 1年生60名 講話・録音体験
- ☆茅ヶ崎誘導グループ 草笛
9月26日 東海岸小学校 4年生127名 アイマスク・誘導体験



伝言板
・開催します
・ご参加下さい
ボラ連はボランティアグループ間の相互連絡を、情報交換、活動の推進、地域への啓蒙を行っています。

夏休みおやこ手話教室
ゲームを交えながら楽しく手話に挑戦!
7月28日（月）～8月1日（金）の連続5日間
時間 10時～11時30分
対象 市内の小学生親子（子どものみの参加可）
会場 さがみ農協ビル2階会議室
受付 7月1日（火）9時より開始。
申込 「電話」「メール」「グループフォーム」のいずれかにてお申込みください。
電話 0467-85-9650
メール vc@shakyo-chigasakior.jp



グループフォームはこちら

編集後記
合理的配慮の提供が民間にも義務化されて1年がたちました。茅ヶ崎市内では変化が見られるのでしょうか? 第7期茅ヶ崎市民障がい者保健福祉計画が掲げる「お互いの理解と助け合いのもとだれもが自分らしく生きがいのある暮らしを実現できるまち」の目指す将来像の実現は着実に進んでいるのでしょうか? 今年の会員研修会では合理的配慮をテーマに皆さんと学びたいと思います。
(編集担当 書記 松本)

茅ヶ崎市社協・ボラ連 意見交換会

茅ヶ崎ボランティア連絡会 書記 松本 陽子

市・市社協・ボラ連意見交換会が続きましたが、やはり市社協との意見交換会をとの要望を受け、1月27日市社協3名、ボラ連8グループ14名、役員4名が出席し、活発な意見交換がされました。テーマは「ボラルームの使用環境について」。事前に各グループより意見を出していた①「MCU環境の使用②プラインドの修理③エアコンの使用開始時間についてなど、市社協に要望をしました。①については現時点では使用できる方向で進行中。②はその後間もなく修理され、破損の無いよう注意して使用しています。③も担当部署に確認いただけるとのこと。その他に駐車場は基本用意が無いが事前に相談。レイザーは各グループが用意する。ボラルームの鍵使用時の注意、使用後のドア・窓の施錠についてなど、互いに確認することができ、有意義な会となりました。市社協ボランティアセンターの皆さまが、いつもボランティア団体に寄り添い活動しやすいようご配慮くださっていることに改めて感謝いたします。



2025年度 ボランティア連絡会グループと会員数

2025年5月現在

グループ名	会長名	会員数
聴覚障がい者に係る活動		
手話サークル 松の会	加藤 雄三	40名
手話サークル 茅の会	石井 久美子	44名
手話サークル フレンズ	滑 原文	13名
筆記通訳サークル 「虹」	室川 和子	19名
視覚障がい者に係る活動		
茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団	渡辺 三千子	49名
茅ヶ崎録音奉仕会	大村 美佐	39名
茅ヶ崎録音ボランティアなかま	小野 橋	21名
茅ヶ崎誘導グループ 草笛	田澤 健夫	27名
障がい者・高齢者に係る活動		
介護ボランティア ポテトの会	前田 吾郎	28名
ボランティア香川	武見 正利	27名
小さな手	島田 和明	14名
技能を活かした活動		
布えほんグループ コスモス	杉本 優子	21名
合 計		342名

2025年度 ボランティア連絡会役員

会 長 廣田 みつ子 (草笛)
副 会 長 平岡 美智子 (点奉)
書 記 岡田 善司 (ポテト)
書 記 松本 陽子 (録奉)
会 計 石井 久美子 (茅の会)
監 査 渡邊 多茂夫 (なかま)
監 査 長 瀬 忠和 (ボラ香川)

今年度もよろしくお願いいたします。

誰もが避けることができない死にどう臨むのかを考えたことがありますか？
人生会議（ACP）とは、『自分が病気になるったり介護が必要になった時に、「自分はどう生きたいか」をあらかじめ考え、家族や大切な人、医療介護にかかわる人たちも含め、一緒に話し合い、自分の思いを共有すること』です。つまり、「悔いなく生きるためにしてほしいこと、してほしくないこと、人生観や価値観など」についての自分の思いを自分だけの心の中に留めておかないことです。意思は変わります、だから何度でも話し合うことが大切です。最期は自宅で迎えたいですか？それには家族からの介護や介護サービスが必要かもしれません。それとも施設、あるいは病院を希望しますか？心肺蘇生や胃瘻等の延命治療を受けて生きたいでしょうか？
経済的なこと、どこまで誰が介護を担えるか、こういったことを常日頃から暗くなるのではなくさっと話題にできるといいですね。自分とまわりの人たちの気持ちのすれ違いが起きないように。

子どもがいても頼れない場合や身よりもいない全くのひとりである場合もありが、発行されるところは2月18日の研修会から4ヶ月が経っています。研修会に参加されたみなさま、あれから何か始めましたか？
このボラだよりが発行されるころは2月18日の研修会から4ヶ月が経っています。研修会に参加されたみなさま、あれから何か始めましたか？
あるでしょう。沢村香苗著「老後のひとり難民」の紹介がありました。「自分に関する情報を整理する」「契約・依頼を明確にする」「自分がいなくても情報が伝わるようにしておく」が3大ポイントであり、8つの終活の内容が書かれているとのこと。今回はとても好評で「有意義だった」「考えるいい機会になった」「本気で話しあってみます」などのアンケートの声をいただきました。それだけ身近な問題だともいえるのでしょう。
意思表示をすることが自分自身の最期の時を満ち足りたものにし、周りの人に感謝の気持ちを持つことができ、そして周りの人も悔いのない送り方ができることに結びついていくのかなと深く考えさせられた講演会でした。



ボランティア連絡会会員研修 「人生会議」2025.2.18

茅ヶ崎ボランティア連絡会 会計 石井 久美子

“もっとボランティア”

ボラ連の仲間の活動状況です



茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団



50周年 集合写真

私たちは点字を通して福祉活動を行うグループです。文字を点字に翻訳することを点訳と言います。活動の内容は(1)点字 点訳の図書・情報誌・交流誌の作成(2)中途視覚障がい者への点字研修(3)カレンダー、時刻表、ゴミ収集案内等を点字にして情報提供(4)依頼に基づき将棋、俳句、楽譜等の点訳(5)読者との交流等々です。

団員数は48名です。活動拠点は野球場に隣接した茅ヶ崎市体験学習センター（うみかぜテラス）です。「茅ヶ崎点字奉仕会」として設立50年、日赤に加盟して「茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団」の呼称となり25年です。

50周年の記念行事として、日赤はじめ諸団体代表様よりお寄せいただいた祝辞、「記事で迎える50年」「係の歴史・歩み」「あの日・あの時」などを内容とした記念誌「点字と共に」を団の実行委員が手作りで作成しました。お陰様で発足から半世紀の歴史を残すことができました。

2025年3月14日に読者の方と共に祝う会を行いました。設立者の方の設立時のお話、団員の「想い出話」、読者の「点奉と出会って」のお話を聞きました。読者のギターの弾き語り、支援者と読者によるオカリナやコーラス演奏などで和やかな祝う会でした。



50周年祝う会 うみかぜテラス

私たちはこれからも視覚障がい者の方々に側面から寄り添い続けたいと思っています。

茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団 委員長 渡辺 美千子

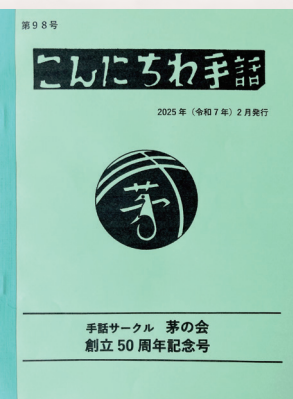


50周年を迎えて

手話サークル茅の会 会長 石井 久美子

茅の会は2025年3月に50周年を迎えました。50年間、どれだけ多くの人が関わり、どれだけ多くのことが紡がれて今の会があるのでしょうか。50周年記念誌を作成するに当たって記念誌作成担当者との会の歴史を遡りました。

茅の会は、1975年3月茅ヶ崎市主催第1回手話講習会(全5回)の受講者有志により、県下初の昼間のサークルとして始まりました。初期には著名な講師のお力添えをいただきながら活動が続け、県、市行政、市社会福祉協議会、市聴覚障害者協会等から表彰や感謝状などを数多くいただき、2010年には国から緑綬褒章もいただいています。



茅の会50周年記念誌

活動内容も様々な変遷を経て形を変えながらも今に続いているものもあります。逆に一泊研修など今では実施されていない行事などの驚きの発見もありました。記念誌作成中に、先人たちの会への愛情がいかにばかりだったかに思いを馳せ、全く知らなかった会の歴史を縦横に想像して楽しみました。
この50年の間、障害者関係の様々な法律の改正、新たな制定がありました。2014年12月神奈川県手話言語条例が、2024年4月1日には改正障害者差別解消法が施行され事業者には合理的配慮の提供が義務づけられました。今後も法令は整備されていくことでしょう。
聴覚障害者を取り巻く環境は変化しています。しかし、創立以来の基本である「手話技術だけを優先するのではなく、聴覚障害者の立場と文化を理解し、その立場について地域に理解を求めていく」ことは変わらぬサークルの役割です。
手話はろう者の大切な言語であるということが社会に根付いていくように、これからも一歩一歩活動を続けていきたいと思っています。

——たんぽぽの綿毛のように——